

令和7年6月9日

## 第1回東京都エネルギー問題アドバイザーボード

午前11時0分開会

【田中局長】

それでは、定刻となりましたので、これより令和7年度第1回東京都エネルギー問題アドバイザリーボードを開会いたします。

東京都産業労働局長の田中でございます。よろしくお願いいたします。議事が始まりますまでの間、進行役を務めさせていただきます。

本日は、5名の委員の皆様に出席いただいております。森本委員につきましては、ご欠席の連絡をいただいております。意見書を手元に配付させていただきます。オブザーバーといたしまして、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課長の木村様にもお越しいただいております。ありがとうございます。また、本日、データセンターをテーマの一つということでございますので、有識者ヒアリングにおきますゲストスピーカーといたしまして日本データセンター協会事務局長の増永様、日本電信電話株式会社代表取締役副社長の川添様、M i T A S U N株式会社代表取締役の綱脇様にもご出席いただいております。ありがとうございます。

まず初めに、小池知事からご挨拶をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【小池知事】

皆様おはようございます。本日はお忙しいところ、東京都エネルギー問題アドバイザリーボードの方にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

世界はこんなに荒れるんだと、こんなに激しく動くんだということを毎日痛感するわけですが、中でもエネルギーについては、今後どうなるのか。産業が大きく変わり、そしてまた世界の覇権の構造が激しく変わる中において、また、「ここ掘れワンワン」があったりとかですね、本当に大きく変化を遂げているところでございます。

そういう中で、これまではエネルギー需給や水素の利活用という観点から様々ご意見をいただきまいりました。今年度のグリーン水素の産業利用や国産のS A Fの利用の促進、カーボンリサイクルの推進に向けた取組などが、これまでのご議論がいろいろな面につながってきているということで、皆様方のこれまでのご活動に感謝申し上げたいと思います。

そして今申し上げましたように、国際経済情勢は全く不安定、不透明でございます。そして、なかなかエネルギーを取り巻く環境も激動の最中にあるという状況でございます。

それから、今年の流行語大賞になるのではないかなと思っているのですが、「暑熱順化」という言葉があります。暑さに今のうちに慣れておきましょうという中身でございますけれども、熱中症も、特に室内で亡くなるようなケースも多発しております。この夏にも備えていかなければならないということでございます。

それから、もっと大きくはエネルギーの安全保障の問題であります。一方で脱炭素化をどう進めていくのか。この2つを成し遂げるためにもG X、D Xというのは加速させていかなければならないわけでございます。

前からbefore COVID、そしてAge Of Digitalで、これが新しいB. C. とA. D. だと私は申し上げているんですけれども、デジタルの波によって全く新しい時代が幕を開けているということで、今日はデータセンターの新設について、今後どうしていくべきなのか、東京都として様々考えていかなければならないということで、特にお願いをしてご参加いただいているところでございます。

これからも最新の動向、課題についてのご発言をいただき、そして様々な観点からの取組の方法について考えていきたいと思っております。

今日も委員の皆様、ありがとうございます。そして、今後ともよろしくお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

【田中局長】

知事、ありがとうございました。本日も委員の皆様にご協力いただきまして、実りある議論を行いたいと思います。よろしくお願いいたします。

知事は都合により、ここで退席させていただきます。

【小池知事】

よろしくお願いいたします。

(知事退席)

【田中局長】

また、報道関係の皆様方におかれましては、事前にご案内いたしましたとおり、公開はこちらまでとさせていただきます。この時点で皆様のご退室もお願いいたします。

(プレス退室)